



第3会場 ● 4F 視聴覚室

■司 会 / 土井 淳 熊本県教育庁教育総務局社会教育課 社会教育主事
松田 雄三 福岡県教育庁筑豊教育事務所社会教育室 主任社会教育主事

分科会の進め方 13:30~13:35

1 協働のまちづくりと男女共同参画のリーダー養成
~協働の確立、ネットワークの形成、各地に育ったリーダーの活躍~ 13:35~14:05

金折美津子(山口県山口市) やまぐちネットワークエコー 事務局長

益田 徳子(山口県山口市) やまぐちネットワークエコー 副代表

本会は、「やまぐち女性カレッジ」の修了生を中心に平成元年に設立。以来、男女共同参画の推進を基軸として活動を続けてきたが、男性会員の参加も得て、事業の柱を協働のまちづくりと男女共同参画の2本だて、3部会構成とした。力点は、リーダーの養成と関係者間のネットワークの形成に置き、第1部会は「女性学講座」、第2部会は「企画力・実践力ステップアップ講座」、第3部会は「生涯学習ネットワーク研究会」としている。それぞれの事業は、会費収入に合わせて、山口県との協働事業、(公財)山口県きらめき財団・(公財)山口県人づくり財団等の助成を得て展開してきた。成果は、市民-会員-行政間のネットワークの形成に成功し、各種の「協働」が実現し、各地に育った地域リーダーが様々な分野で活躍を始め、力を発揮するようになった。

2 木製玩具を通じた子育て支援ネットワークづくり
~企業の社会貢献活動とNPO機能の融合~ 14:10~14:40

土屋 佳子(沖縄県浦添市) 株式会社オフィスハート 代表

本発表は、幼少期の健全な遊びを提供するため、木製玩具を媒介として、株式会社、NPO法人、NPO団体それぞれの特性を生かし実現した子育て支援事業である。出発点は、個人企業「オフィスハート」の活動とその社会貢献事業のミックス・融合として開始した「NPO沖縄グッド・トイ委員会(現在はNPOマチルダおもちゃ協会)」の「出張おもちゃ広場」である。この事業は、子どもに良いおもちゃと触れ合う機会を提供するプログラムで、「手づくりおもちゃ教室」、「おもちゃと遊びに関する親子講座」、「木育推進講座」などを通して、地域文化を生かした子育て支援を展開した。3年半で、1,500人を越える保育関係者、親子におもちゃの大切さを伝えることができ、2013年には、活動拠点として「子育て応援ハウス(Casamachilda Toy&friend)」を開所すると同時に、「オフィスハート」を株式法人化し、月300名弱の親子が訪れている。

ティータイム 14:40~15:05

3 大学生による地域参画・地域交流が育む自助・共助のネットワーク
~大分大学高等教育開発センター学習ボランティアグループ「WITH」のまちづくり実践~ 15:05~15:35

梶原 里穂(大分県大分市) 大分大学高等教育開発センター 学習ボランティア・グループ「WITH」

宇野 優希(大分県大分市) 大分大学高等教育開発センター 学習ボランティア・グループ「WITH」

山下 露姫(大分県大分市) 大分大学高等教育開発センター 学習ボランティア・グループ「WITH」

結成3年目のグループである。学生と地域にはつながりが無い。知識と実践もつながっていない。「WITH」には、「地域とともに」・「仲間とともに」の二つの意味を込めている。まずは、学問と実践を結ぶ活動を求めて、地域に出て、地域の人を知るためのインタビューから始めた。学内では毎週定例のミーティングを行い、地域では毎月朝の清掃活動・だんご汁づくり等の既存事業に参加すると同時に、「WITH」が提案した浴衣の着付教室、茶話会、焼き芋工作教室、昔の遊び教室、地域住民との座談会などを企画・協働してきた。連携対象は、老人会、子ども会、既存のサロン活動などである。小さいながら地道に地域活動に参加し、賛同者の輪を広げながら、地域福祉の原点、自助・共助のネットワークを生み出しつつある。

4 公民館が紡いだ「目的縁」の10年
~住民による住民のための事業展開で、地域は力を蓄え、人々の縁は深まった~ 15:40~16:10

竹谷 強(島根県松江市) 松江市古志原公民館 館長

古志原地区は急速に都市化したため、地縁関係が薄く、高齢化は他地区と同様、急速に進行した。人々の絆と福祉を充実させる地域力は、課題の解決に参加する住民相互の交流の中からしか生み出せないと考え、公民館プログラムが繋ぐ人間関係を「目的縁」と名付けた。公民館は、住民から広くボランティアを募り、各種の補助金を活用して、地域住民による地域のための事業を提案してそのコーディネーター役を果たした。放課後子ども教室も、災害時要援護者支援組織も立ち上げ、異世代交流を目指した公民館プログラムには、高齢者はもとより、中・高生や親子と一緒に参加するようになった。高校との連携も実現し、高校生ボランティアが地域活動に参加するようになり、小学校校庭の芝生化等地域活動には参加者の大幅増加が見られた。